

茨城県庁 参加者 6 名の自己紹介

1. 事務職(1)

事業局事業部 副部長政策企画部 スポーツ推進課 主事

人文・文化学群 日本語・日本文化学類 2020 年卒業 → 2020 年入庁

【仕事内容】

- (現在) ・サイクルツーリズム国内向けプロモーション
・つくば霞ヶ浦りんりんロード利活用推進協議会事務局業務
・Okukuji「X」の運営(一部)
- (昨年まで)
 - ・プロスポーツとの連携
 - ・生涯スポーツの推進

【卒業後の所属先】

大学卒業→県西農林事務所境土地改良事務所→現職

【自己紹介文】

- ・竹園高校→筑波大学→茨城県庁と、茨城を出て生活したことがありません。
- ・大学では、選挙啓発や議員インターンシップを行う団体と、アコースティックギターの弾き語りサークルに所属。
- ・県庁で1週間のインターンシップを経験。
- ・選挙啓発に興味があったため、県庁に応募。
- ・スポーツは未経験・興味なしでしたが、スポーツ推進課配属になりプロスポーツとの連携を担当した結果、JリーグやBリーグの観戦が趣味に。

2. 事務職(2)

防災・危機管理部 防災・危機管理課 主事

体育専門学群 2018 年卒業 → 人間総合科学研究科体育学専攻(中退) → 2022 年入庁

【仕事内容】

- 現在:防災・危機管理課
 - 備蓄物資に関すること(備蓄物資の購入、備蓄倉庫の管理等)
 - 防災啓発イベントの企画・運営、
- これまで:土木部境工事事務所
 - 国道や県道、河川整備のための用地買収に係る事務

【卒業後の所属先】

大学卒業→土木部境工事事務所→現職

【自己紹介文】

- ・運動療法やスポーツ医学に興味を持っており、筑波大学体育専門学群へ入学。
- ・大学では、陸上同好会や、スポーツ愛好会に所属しサークル活動に没頭。
- ・運動療法についてより深く学ぶため、スポーツ医学研究室に所属。
- ・研究をしていくうちにスポーツや運動を通じた政策に興味を持ち、公務員を志望。
- ・公務員試験に必要な法学知識等は全くなかったため、試験勉強に苦労したものの、なんとか無事茨城県庁に合格。
- ・現在は、防災・危機管理課において県民のための備蓄物資や防災啓発イベントの企画を担当。その他、内閣府防災担当の非在庁型研修員に任命され、国、県と連携して地域の防災力向上に携わっている。

3. 事務職(3)

人事委員会 事務局 係長

第一学群 社会学類 2010 年卒業 → 2010 年入庁

【仕事内容】

(現在)県職員採用試験の執行、各種就職イベント等での採用 PR
(これまで)税務課、農林事務所、市町村課等で国庫補助金の交付関係業務、市町村の財政支援等

【卒業後の所属先】

大学卒業→総務部税務課→保健福祉部生活衛生課→県西農林事務所→総務部市町村課→現職

【自己紹介文】

- ・法学を中心に、社会について幅広く学びたいと思い、社会学類に進学。
- ・サークルは筑波大学管弦楽団に所属し、学生生活の中心はサークル活動。
- ・当初から公務員を志望していたため、学内の公務員講座を受講。
- ・教職課程も履修し、授業もそれなりに大変だったものの、筑波大付属聴覚特別支援学校での実習や、母校での教育実習など非常に良い経験ができた。
- ・裁判所事務官など、ほかの公務員も合格したが、地元で長く働きたいと思い、茨城県庁へ。
- ・県庁入庁の1年目に東日本大震災、5年目には関東・東北豪雨(常総市の水害)があり、当時の担当業務での災害対応も経験。(税務課では税の災害減免、農林事務所では被災農業者支援など)
- ・2人の子どもがおり、仕事と子育ての両立に日々奮闘。
- ・現在は人事委員会事務局で県職員採用を主に担当しており、職員採用パンフレット 2025 と採用 PR 動画 2025 の作成も担当。(是非見てください)
- ・県庁の仕事のこと、採用試験のこと、なんでも聞いてください！

4. 土木職

政策企画部 交通政策課 係長

理工学群 社会工学類 2012 年卒業 → 2012 年入庁

【仕事内容】

(現在) つくばエクスプレスの延伸、公共交通の利用促進、第三セクター鉄道の指導監督など
(これまで) 道路整備事業、土地区画整理事業、道の駅事業など

【卒業後の所属先】

大学卒業→土木部検査指導課→土木部竜ヶ崎工事事務所→土木部土浦土木事務所つくば支所
→土木部道路維持課→現職

【自己紹介文】

- ・学校教員を目指すために数学類に入学するも、在学中に都市やまちづくりに就きたいと思い、3年次より社会工学類に転学。
- ・大学では、宿舍祭実行委員に所属し、多くの人と関わる楽しさ・面白さを知る。
- ・インターンシップで県庁を2週間経験。生まれ育った茨城県に広く携わりたいと思い、県庁を志望。
- ・大学院進学を希望していたが、家庭都合により就職。
- ・就職後は、主に道路事業や土地区画整理事業を担当。土木職と一口に言っても、公共工事の発注監督など建設現場の最前線だけではなく、環境アセスメント、土地の調査、条例改正など幅広い業務など様々な業務に従事。
- ・特に、道の駅プロジェクトを担当し、道の駅かさまや常総の開業に関わったことは経験値として大きかった。
- ・現在は、在学中にインターンシップを経験したセクションに配属。JR など公共交通の利用促進やつくばエクスプレスの延伸計画などに携わっている。

5. 化学職

県民生活環境部 環境対策課 技師

理工学群 化学類 2022 年卒業 → 2023 年入庁

【仕事内容】

(現在) 地下水の常時監視、霞ヶ浦、涸沼、牛久沼の水質保全に関すること。
(これまで) 鳥獣保護管理業務、水質汚濁防止法に関する事業場の立入調査、大洗町における水産加工事業場の排水指導

【卒業後の所属先】

大学卒業→県民生活環境部 環境政策課 県央環境保全室→現職

【自己紹介文】

- ・茨城県立水戸第一高等学校を卒業後、一浪し筑波大学理工学群化学類へ入学。
- ・大学では Picnic 硬式テニスサークル、On the line ソフトテニスサークル、スポーツ愛好会に所属。
- ・2022～23 は、国際統合睡眠医科学研究機構(IIIS) 沓村・斉藤研究室に所属し、創薬化学/有機化学を専攻していました。
- ・大学在学中は、勉強/研究/サークル/アルバイト(←1番)に全力投球していました。教員免許(高校理科)も取得しております。
- ・家庭の事情などで、大学院在学途中に茨城県庁に入庁していますが、生まれ育った茨城県に恩返し出来ていることをありがたく感じているところです。
- ・県庁入庁時は環境政策課に、現在(3 年目)は環境対策課で、地下水の常時監視、霞ヶ浦/涸沼/牛久沼の水質保全に関する業務を行っています。

6. 農業職

農業総合センター 企画情報部専門技術指導員室 専門技術指導員

第二学群 生物資源学類 2002 年卒業→生命環境科学研究科 2004 年修了→2006 年入庁

【仕事内容】

現在:専門技術指導員(農業革新支援専門員)として、県内全域の若手農業者育成業務を担当。
これまで:農業改良普及指導員として、畜産、果樹、農福連携、ピーマン部会、簿記指導等を担当。
本庁勤務として、米麦大豆等の販売流通業務を担当。

【卒業後の所属先】

大学院修了→常陸大宮地域農業改良普及センター→販売流通課→水戸地域農業改良普及センター→鉾田地域農業改良普及センター→現職

【自己紹介文】

- ・福島県喜多方市出身。
- ・「食料生産をすること」に関心があり、生物資源学類に進学。
- ・大学では、宿舍祭実行委員会やスキューバダイビングのサークルに所属。
- ・大学院(当時は5年の一貫課程のみでした)に進学するも、周囲の就職難の状況に不安を覚え、4 年次のときに受けた公務員試験合格を機に退学。
- ・それ以降、茨城県の農業職として勤務しています。

以上